

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教科	農業	科目	地域資源活用	単位数	2	学年・学科	2学年A科
教科書	実教出版「地域資源活用」		副教材	なし			

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ○地域資源の役割とそれを活用することの意味を考え、活用するための方法や技術を身に付けます。 ○地域の資源に新たな価値を見出し、農業振興や地域活性化にどのように役立てられるか考える力を身に付けます。 ○地域の課題を見つけ、課題解決のために仲間とともに主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けます。
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な地域資源を実際に栽培し、活用します。 ○農業への関わり方が必ずしも農家だけではないことに気付けるように様々な事例を紹介します。

学習評価	評価の観点	評価の観点の趣旨	重み付け							
			100%	55%	45%					
a	知識・技能 (専門教科は知識・技術)	農林業・農山村の特色や地域資源の活用に関する基礎的な知識や技術を身に付け、地域資源を用いた地域振興の仕組みや課題について理解している。	前期	知識・技能(技術)	40%	30%	10%			
			中期	思考・判断・表現	30%	20%	10%			
				主体的に学習に取り組む態度	30%	5%	25%			
						100%	55%	45%		
			b	思考・判断・表現	地域資源を活用した地域の振興について、環境への配慮や法令遵守などの倫理観をもちつつ、科学的な根拠などに基づいて発想力豊かに解決しようとしている。活動について、発信することの必要性に気づくことができる。	前期	知識・技能(技術)	40%	30%	10%
						中期	思考・判断・表現	30%	20%	10%
主体的に学習に取り組む態度	30%	5%					25%			
			100%	55%	45%					
c	主体的に学習に取り組む態度	農林業・農山村の特色や地域資源に興味・関心を持ち、農林業・農山村の現状や課題の改善を目指して、主体的に取り組もうとする態度を身に付けている。	後期	知識・技能(技術)	40%	30%	10%			
			中期	思考・判断・表現	30%	20%	10%			
				主体的に学習に取り組む態度	30%	5%	25%			
						100%	55%	45%		
			後期			後期	知識・技能(技術)	40%	30%	10%
						中期	思考・判断・表現	30%	20%	10%
主体的に学習に取り組む態度	30%	5%					25%			

学期	単元名 (題材)	学習内容 (小単元)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期中間	A 牛舎の暑熱対策(プロジェクト活動①) B ニホンムラサキの栽培(プロジェクト活動②) 【教科書】 1 地域資源活用とは 2 農山村社会の変化と地域振興	A ヒョウタンの栽培方法 B ニホンムラサキの栽培方法 1-1 地域資源とその活用 2-1 農山村と都市の現状と変化 2-2 地域活性化に向けた施策・取組 3-1 地域資源の魅力と価値	○	○	○	・ヒョウタンの栽培方法について理解できる。 ・ニホンムラサキの栽培方法について理解できる。 ・農山村と都市部の比較を見直し、そこから生み出される資源の開発などについて地域の活性化の変化とその要素が理解できる。 ・国や地方自治体で行っている施策について理解できる。 ・地域の歴史をふまえた地域資源活用の事例について理解できる。	・授業プリント ・レポート ・学習態度 ・学習記録 ・定期考査
前期末	A 牛舎の暑熱対策(プロジェクト活動①) B ニホンムラサキの栽培(プロジェクト活動②) 【教科書】 2 農山村社会の変化と地域振興 3 地域資源活用の意義と役割	A 牛舎内温度変化の測定、ヒョウタンの栽培の実際 B ニホンムラサキの栽培の実際 3-2 地域振興に向けた施策と取組 3-3 異業種連携と商品価値の創造 3-4 地域資源活用の実践と課題 3-5 情報の活用と発信	○	○	○	・実践的な学習から、牛舎の暑熱対策の必要性に気づくことができる。 ・地域振興に向けた施策・取組について理解できる。 ・農業の多面的特質の活用と異業種と連携した価値創造の事例について理解できる。 ・社会的起業家や地域活性化の核となる人材の実践例からその役割と課題について理解できる。 ・マーケット情報についてインターネットを利用し調査でき、SNSなどを活用した地域情報の発信方法について理解できる。	・授業プリント ・レポート ・学習態度 ・学習記録 ・定期考査
後期中間	A 牛舎の暑熱対策(プロジェクト活動①) B ニホンムラサキの栽培(プロジェクト活動②) 【教科書】 3 地域資源活用の意義と役割 4 地域資源の価値と活用	A 牛舎内温度変化の測定、ヒョウタンの栽培の実際 B ニホンムラサキの栽培の実際 4-1 地域資源の見つけた方と活用 4-2 観光への活用 4-3 商品開発への活用 4-4.5 サービス業、教育・福祉への活用	○	○	○	・実践的な学習から、牛舎の暑熱対策の必要性に気づくことができる。 ・農の多面的機能を活用した観光について理解できる。 ・農業の多面的機能を活用した商品の開発について理解できる。 ・直販所や農家レストランの開設や運営について、ワークショップの運営などについて理解できる。 ・地域へのニーズや地域ブランドづくりについて理解できる。	・授業プリント ・レポート ・学習態度 ・学習記録 ・定期考査
後期末	A 牛舎の暑熱対策(プロジェクト活動①) B ニホンムラサキの栽培(プロジェクト活動②) 【教科書】 4 地域資源の価値と活用 5 地域と連携した活動	A ヒョウタンの活用 B ニホンムラサキの活用 5-1 地域資源のマーケティングとブランドづくり 5-2 地域資源を活用したサービス 5-3 農業のユニバーサルデザイン化 5-4 地域振興活動と評価	○	○	○	・ヒョウタンを活用できる。 ・ニホンムラサキを活用できる。 ・地域資源を活用したサービス分野のマーケティングについて理解できる。 ・農業のユニバーサルデザインについて理解できる。 ・地域の振興と活性化活動を、プロジェクト学習を通して理解できる。 ・プロジェクト学習を通して、起業の方法や六次産業化の意義について理解できる。	・授業プリント ・レポート ・学習態度 ・学習記録 ・定期考査 ・作品